

平成25年11月

なばり市議会だより

No. 70

市議会の動きをコンパクトにまとめてお伝えします。今号は 6月 9月 12月 3月 の定例会をクローズアップ

編集/議会広報特別委員会 発行/名張市議会 ● 三重県名張市鴻之台1-1 ☎ 63-7834~5 ㊚ 64-8870 ✉ gikai@city.nabari.mie.jp

トピック ①

新議長・副議長が 決まりました。

平成25年10月7日に開催された第357回定例会の最終日、正副議長選挙を行いました。議長には3人、副議長に2人の議員が立候補し、候補者の演説を行った後、全議員による投票によって、議長・副議長が選出されました。



第63代 議長
石井 政

第65代 副議長
豊岡 千代子

【就任あいさつ】

このたび、私たちは、去る10月7日に行われた役員選挙におきまして、議長、副議長に就任いたしました。名張市議会におきましては、これまでさまざまな議会改革を進めてまいりましたが、改革にゴールはありません。改革し続けることが重要と考えております。改革には議員の資質向上が不可欠です。私は、所信表明で、「思慮深いこと」「口が固いこと」「信義を貫くこと」をその条件として掲げたところでございます。

当市議会では、議員提案条例として「名張市子ども条例」「名張市ばりばり食育条例」を制定してまいりました。今後も、立法府として、政策立案や提言機能の強化に努めてまいります。

さらに、二元代表制の一翼を担う議会として、議論の論点や争点をより一層明確にするため、答弁者の「反問権」※の導入を考えております。

市民の皆様への負託に応えるため、議員一丸となって、さらなる議会改革を推進してまいりますので、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い致します。

名張市議会議長 石井 政

選挙結果

<議長選挙>

石井 政 議員…………… 9票 (当選)
山下 松一 議員…………… 8票
橋本 マサ子 議員…………… 2票

<副議長選挙>

豊岡 千代子 議員…………… 14票 (当選)
三原 淳子 議員…………… 2票
白票 ……………… 3票

議員提案条例第2弾 ～名張市ばりばり食育条例を制定～

近年、社会経済情勢が変化し、ライフスタイルや価値観が多様化する中、食生活を取り巻く環境も大きく変わってきています。それに伴い、不規則な食事、栄養の偏り、肥満や生活習慣病の増加、過度の痩身志向のほか、食の安全、海外依存、伝統的な食文化の危機など、さまざまな問題が生じています。

食は、生きる上での基本であり、知育、徳育および体育の基礎となるものです。食をめぐる環境が変化する中、私たち一人ひとりが自然の恩恵や、食にかかわる人々の活動への感謝の気持ちと理解を深めるとともに、さまざまな経験を通じて食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を営む能力を培うため、食育を推進していくことがますます重要となっています。

そこで、本市の食育についての基本理念、市の責務、市民など

の役割を明確にした「名張市ばりばり食育条例」を名張市議会として、全会一致で可決しました。この条例には、関係部署の連携はもちろんのこと、市民や食育関係者などとも連携し、市全体で総合的、かつ計画的に食育に取り組んでいくように明記されています。

この条例の施行を契機に、市民一人ひとりが食を正しく学び、地域の特性を生かした食育を実践し、健康で文化的な市民生活が実現するよう制定しました。



トピック ②

※反問権…市長をはじめ市の執行部が、質疑の論点を明確にするため議員に対し質問すること。

平成25年9月定例会

平成24年度決算を認定 32議案を可決

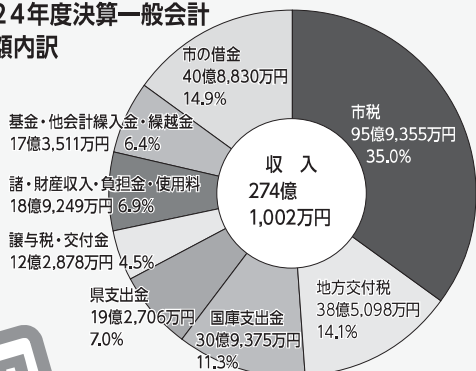
9月定例会(第357回)は、9月5日開会、10月7日閉会の33日間の日程で行われた。提出議案の新型インフルエンザ等対策本部条例の制定1件、市税条例などの条例改正7件、平成25年度一般会計・特別会計の補正予算6件、平成24年度一般会計・特別会計・企業会計の決算認定10件、名張市

ばりばり食育条例の制定などの議員提出議案7件、人事案件1件の計32議案および請願4件について、本会議・決算特別委員会・常任委員会で慎重に審議し、32議案を可決、請願4件を採択した。一般質問は3日間行われ、9議員が登壇し市政全般について活発な議論がなされた。

決算

平成24年度一般会計の決算は、歳入総額274億1,002万円、歳出総額273億7,702万円。特別会計の決算は、全8会計を総計すると、歳入総額170億3,565万円、歳出総額164億1,648万円。

平成24年度決算一般会計 決算額内訳

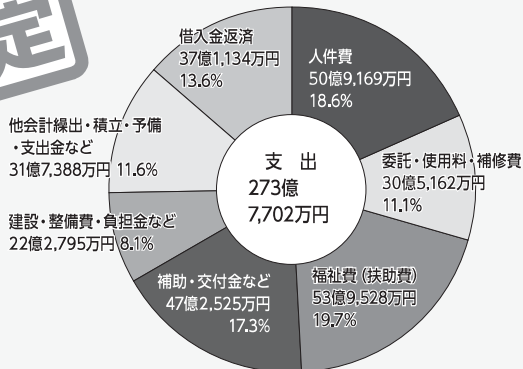


※地方交付税・・・市が自由に使える国からのお金
 ※国庫支出金・県支出金・・・使い道が定められた国・県からのお金



補正予算

平成25年度一般会計の補正予算は、3億8,310万円の増額補正で補正後の予算は242億1,270万円となった。特別会計予算では、公共下水道事業特別会計で472万円の減額、国民健康保険特別会計で5,840万円の増額、介護保険特別会計で1億7,417万円の増額、後期高齢者医療特別会計で464万円の増額である。



※表示単位未満を四捨五入にしているため、合計が合わない場合があります。

Q&A

9議員の質問と、市長などの答弁をご紹介します(一部抜粋)。
 掲載内容は議員から提出された原文を尊重して、編集しています。

一般質問

産業・公共財産・防災

清風クラブ
 福田 博行 議員



心風会
 幸松 孝太郎 議員



Q 日本酒で乾杯条例

伊賀地域には、伊賀牛・伊賀米・伊賀酒など全国に誇れる食のアイテムは多い。伊賀米は2年連続特Aに、伊賀牛は三重のブランドとして認定された。清酒もおいしいと評判だ。市内では近年まで6軒の酒蔵が地酒を製造してきたが大量生産・大量消費の時代に押され、2軒減り4軒になった。近年多くの自治体が日本酒で乾杯を推進する条例を制定して地産地消に取り組んでいる。京都市では条例制定後、日本酒の消費が上向くなど効果が現れている。条例制定を提案する。

A 議員提案での制定を

行政で提案することも考えるが、これこそ議員提案条例で制定される方がインパクトがあるのではないかと、行政も精一杯協力する。



名張の地酒

Q 公共施設管理の提言

全国の自治体の最大のテーマである公共施設の老朽化・更新対策について提言したい。対策として、公共施設マネジメントを導入することだ。一体的に管理できる組織体制を作り、適正な配置と効率的な管理運営に向け早期に取り組んでいただきたい。

A 早期実現に取り組む

公共施設の老朽化・更新は、今後の財政運営を行うためには、極めて重要なことと考えている。将来を見据えた、中長期的かつ横断的な視点に立った公共施設マネジメントの展開を明らかにしていきたい。そのためには、全庁的に取り組む組織体制を構築し、一定の手法で公共施設の調査を行う。現状を把握した上で、全体最適化を目指して早期実現に向けて取り組む。



改修中の総合体育館

健康福祉・学校教育・子ども施策

清風クラブ

常俊 明子 議員



清流クラブ

豊岡 千代子 議員



日本共産党

三原 淳子 議員



公明党

吉住 美智子 議員



心風会

森脇 和徳 議員



無会派

浦崎 陽介 議員



Q 市の総合防災訓練

平成25年9月22日の訓練は市民総ぐるみで、自助・共助の力により、相互の連携を強化する計画であるが、実施後の検証が大切である。意義あるものとなるように求める。

A 実効性の高いものに

これまでのような防災関係機関・団体が集結した展示型ではなく、市全体が初期の対応について、市民・地域・市など、各々が訓練を行い、15地域がテーマに沿って取り組み、相互に実践的な連携を図る。地域の検討の場に同席し、共に協議を行い、今回の訓練が実効性の高いものになるよう努めていく。



避難訓練当日の様子

Q 貧困の連鎖を解消へ

「貧困の連鎖」を断ち切るためには、貧困の子どもたちの将来の選択肢を増やし、安定した就労へと導かなければならない。十分な学力を身につけるための学習支援が必要となってくる。このような子どもたちにとってどのような支援がなされているのか。今後の取組みを問う。



A 学習支援に取り組む

学習支援の必要性を感じ、5人の中学生に2人の教師OBの学習支援員が家庭を訪問し、勉強を支援している。今後は「貧困の連鎖」を断ち切るためにも、学習支援のあり方を更に検討し、高校進学率向上に向け努めたい。

Q 安心な通学環境を

小学校の通学路の改善が進められているが、進捗状況を問う。中学校の通学路は、距離が長く自転車通学もあり、安全面に不安の声がある。合同点検を実施し、危険箇所の改善を求める。バス通学の自己負担についても軽減を検討し、市内どこに住んでも安心の通学を実現せよ。

A 必要な対策を講ずる

要対策箇所62カ所のうち、23カ所が対策済み、平成27年度までに22カ所を改善予定。残る17カ所は、県や警察にも要望し改善を検討する。中学校の通学路についても、保護者・学校・地域の皆さんと共に、危険箇所を点検し改善に努める。バス通学は、過度の保護者負担とならないように検討し、低所得家庭は、就学援助制度で全額補助をしている。



Q 子ども安心カード

近年、アレルギーを持つ子どもが増加している。特に食物アレルギーに関しては、事故を防ぐため、日ごろから専門家による研修会を実施し、緊急事態に対応するためにマニュアルを作成すべきだ。アナフィラキシーショック(※1)が起きた場合、エピペン(※2)を打つなど迅速な対応が求められる。緊急時に備え病歴などを記入する「子ども安心カード」を作成し、消防署との連携強化を図るべきだ。

A 消防署と連携し協議

学校現場の取り組み状況を詳しく把握し、是正やチェック体制の見直しで、指導体制の強化を図る。緊急時の対応として「子ども安心カード」を作成することで、迅速かつ効率化が図られるかを学校教職員と協議し、消防と連携しながら検討する。



子ども安心カード

Q 病児病後児保育を

平成25年3月議会でもお尋ねしたが、市長マニフェストでは、病児病後児保育の実施が掲げられている。市民ニーズも高く、早期実現が待ち望まれている施設である。希中央に建設中の医療法人が取り組んでいたが、市として今後どのように関わっていくのか。



A 取扱いを検討したい

育児休業中の在園児の保育所継続入所について、産後6カ月での退所は、現在も4・5歳児の入所継続を行っているが、3歳児以下も延長を検討する。多子出産などの育児負担については、保育所入所基準で柔軟に対応したい。



A 平成26年4月開設へ

26年4月の開設に向けて協議を進めており、実施主体は名張市で、運営を医療法人にお願いする予定だ。引き続き、県・医療法人・医師会とも鋭意協議をしている。

※1…アナフィラキシーショック=ハチ刺傷や食物・薬物などに対するアレルギー反応が短時間のうちに全身に激しく起こる状態。死に至る場合もある。
※2…エピペン=アナフィラキシーによる症状を一時的に緩和するための自己注射薬。



Q 支援体制を考える

市からの業務依頼を一元管理し、整理して負担軽減をする。活動の理解を図るため、広報で啓発や紹介をする。まちの保健室・社会福祉協議会・地域づくり組織との連携をとりながら、支援体制をつくりあげたい。

Q 民生児童委員の支援

民生児童委員は、高齢者や障害者、子育て家庭など福祉全般において相談に応じ、行政や関係機関とのパイプ役になるなど、活動は多岐にわたる。急速に進む高齢化に伴い、民生児童委員のなり手不足・多大な業務量・低い弱な情報提供体制などの課題に対し当市として支援体制を進めるべき。

Q 富田真由美議員



12月 議会の日程

※ 予定を変更する場合があります。

- 12月 4日 開会
- 9日 一般質問
- 10日 一般質問
- 11日 一般質問
- 12日 補正予算
- 13日 総務企画委員会
- 16日 教育民生委員会
- 17日 産業建設委員会
- 20日 採決

開会時間は午前10時からです。ぜひ、傍聴にお越しください。



Q & A

その他質問



国保だより

Q 免除など周知する

保険税の減免制度は平成24年度で117件の利用があった。一部負担金については、25年5月14日施行で始めたがまだ利用はない。国保だよりなどで内容を周知する。

Q 国保加入者への支援

国民健康保険税が、高くて払いきれないとの声が寄せられている。苦しい人に対する保険税の減免制度が創設されたが、どんな利用の状況か。困難者に対しては、病院窓口で支払う医療費の一部負担金の免除や猶予も求め続けているが、施行状況はどうなっているか。

日本共産党 橋本マサ子議員



第357回定例会 審議結果

全会一致 議案

新型インフルエンザ等対策本部条例の制定／市税条例の一部改正／国民健康保険税条例の一部改正／後期高齢者医療に関する条例の一部改正／介護保険条例の一部改正／公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正／市立学校の設置に関する条例の一部改正／奨学金条例の一部改正／市議会委員会条例の一部改正／平成25年度一般会計補正予算(第3号)／平成24年度住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算／平成24年度東山墓園造成事業特別会計歳入歳出決算／平成24年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算／平成24年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算／平成24年度病院事業会計決算／平成24年度水道事業会計決算／「名張市ばりばり食育条例」の制定／義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める意見書／保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書／「教職員定数改善計画」の着実な実施と教育予算拡充を求める意見書／防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実を求める意見書／監査委員の選任

表決が分かれた議案

- ①…平成25年度一般会計補正予算(第2号)／平成25年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)／平成25年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)／平成25年度介護保険特別会計補正予算(第1号)／平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)／平成24年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算／平成24年度介護保険特別会計歳入歳出決算／平成24年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算／地方税財源の充実確保を求める意見書の提出
- ②…平成24年度一般会計歳入歳出決算

会派	無党派	日本共産党		清流クラブ		公明党			心風会			清風クラブ						
議員名	浦崎	三原	橋本	豊田	高田	富田	細矢	吉佳	石井	幸松	森脇	川合	柳生	常俊	森岡	吉田	福田	山下
①	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
②	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わりません。○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員

請願

義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める請願……………採択
 保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願……………採択
 「教職員定数改善計画」の着実な実施と教育予算拡充を求める請願……………採択
 防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実を求める請願……………採択

新体制をご紹介します



(上段左から) 常俊 朋子、吉田 正己、森脇 和徳、三原 淳子、吉住 美智子、高田 稔嗣、細矢 一宏、浦崎 陽介、森岡 秀之、富田 真由美
(下段左から) 川合 滋、橋本 マサ子、山下 松一、豊岡 千代子(副議長)、石井 政(議長)、幸松 孝太郎(監査委員)、柳生 大輔、福田 博行、永岡 禎

監査委員



幸松 孝太郎

※監査委員は市長から選任されました。

議会運営委員会



福田 博行(委員長)
川合 滋(副委員長)

森岡 秀之 細矢 一宏
三原 淳子 永岡 禎

総務企画委員会



富田 真由美(委員長)
常俊 朋子(副委員長)

幸松 孝太郎 石井 政
橋本 マサ子 柳生 大輔
山下 松一

教育民生委員会



吉田 正己(委員長)
川合 滋(副委員長)

森岡 秀之 豊岡 千代子
浦崎 陽介 細矢 一宏

産業建設委員会



森脇 和徳(委員長)
三原 淳子(副委員長)

高田 稔嗣 吉住 美智子
永岡 禎 福田 博行

議会広報特別委員会



幸松 孝太郎(委員長)
吉田 正己(副委員長)

豊岡 千代子 森脇 和徳
三原 淳子 細矢 一宏

全員協議会 予算・決算部会
吉住 美智子(部会長) 三原 淳子(副部会長) 富田 真由美 常俊 朋子 幸松 孝太郎 吉田 正己 森脇 和徳 永岡 禎

「見たいときに見られる」 ～12月から議会中継が変わります～

これまでの議会中継は、一般質問の3日間のみ、ケーブルテレビによる中継が行われていましたが、開かれた議会、情報発信の強化を目指し、平成25年12月定例会から次のように変わります。
視聴方法などの詳細は、決定次第、名張市議会ホームページおよびフェイスブックなどでお伝えします。

ご意見・ご要望をお待ちしています
議会広報特別委員会(議会事務局 ☎63-7834)

【ケーブルテレビ生中継】
ケーブルテレビ局アドバンスコープの「名張市議会中継(203ch)」にて、従来の一般質問3日間だけでなく、各定例会の開会から閉会まで、本会議の全日程が生中継で放送される予定です。

【インターネット録画配信】
ケーブルテレビで生中継された番組をインターネットでも録画配信を行います。これからはお好きな時間に何回でも視聴することができます。
(放映から約1週間後の配信)

